Rotary District 2710

2019-2020 ROTARY INTERNATIONAL District 2710

GOVERNOR's MONTHLY LETTER

vol. 13

2020.7

2019-20年度 国際ロータリー
第2710地区 ガバナー

畫田 眞三

会員各位のご協力をいただき、何とかガバナー年度を終了することができましたことに感謝申し上げます。地区として、昨年度の終盤の3分の1年は新型コロナウイルスの影響により、各事業を見直さざるを得なかったことは甚だ残念でした。各クラブに於かれても過去経験したことがないような理事会での議論を経て、休会や例会開催方法の見直しがあったものと存じます。このロータリーの本質を問われるような議論が、必ずや次へのステップになるものと信じます。

月信6月号でフェイスシールド寄贈の地区補助金プロジェクトを紹介しましたが、その後日談的な話を紹介します。

このプロジェクトをSNSで知った海外の地区（ブラジル・ペルー・フィリピン・マレーシア）から支援要請が届き、日本の34地区がこれに応えるべくOne Teamとなってグローバル補助金を利用して実施することになりました。国内の多くの地区と同様に、山本清／地区財団委員長の賛同を得て本プロジェクトに参加、DDFを15,000ドル拠出することをお知らせします。

またガバナーとしての最後の仕事である決算報告ですが、新型コロナウイルスの影響により中止になった事業があることから剰余金が過大になる事態となりました。これについては活動が停滞したのではないかとの批判が出そうですが、決してそうではなく、「3密の回避」の観点によるものです。

会員所属企業の中には外出自粛要請や休業要請により、大幅に売上減少になった会社もあったものと思います。そのような事情を考慮し、「会費を下げて欲しい」との思いの会員は多いと推察します。そこで正常化された場合、以前と同様の活動を進めるための原資確保を考え、一時的な措置で対応することにいたしました。即ち、畫田年度の繰越金の中から、コロナウイルス支援の特別会計として、2020年7月1日現在の地区関係負担金対象者一人あたり5,000円の特別支援を各クラブへ実施することを決定いたしました。いろいろなご意見があるものと思いますが、皆様のご理解をお願いします。

最後に重ねて皆様のご協力にお礼を申し上げて終わります。

（写真は広島県・山口県医師会へのフェイスシールド贈呈式です。）

ロータリーの未来を語り、礎を築こう

【contents】

ガバナーメッセージ ・・・・・・・・・・・ 1
各グループガバナー補佐退任のご挨拶 ・・ 2～7
代表幹事退任のご挨拶 ・・・・・・・・・・ 8
クラブ管理運営委員会委員長退任のご挨拶 ・・ 8
地区公共イメージ委員長退任のご挨拶 ・・・ 9
会員増強委員長退任のご挨拶 ・・・・・・・ 9
奉仕プロジェクト委員長退任のご挨拶 ・・ 10
Rotaryの種の起源 ・・・・・・・・・・・・ 10
一年を振り返って ・・・・・・・・・・・・ 11
会員増減 出席率 ・・・・・・・・・・・・ 11
新会員紹介 物故者 ・・・・・・・・・・・ 12
編集後記 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

ガバナー補佐退任のご挨拶

2019-20年度 国際ロータリー第2710地区 グループ1 ガバナー補佐　堀川 国彦（下関北RC）

新型コロナウイルスにより緊急事態宣言が出された中、2019-20年度国際ロータリー第2710地区グループ1ガバナー補佐退任の原稿を書く事態になるとは思っていませんでした。

不要不急の外出は避ける、3月・4月と例会が開催されない異常事態でのロータリー活動はテレワーク例会等、本当に実践できる環境が必要な時代の幕開けのような気がしています。

振り返れば、本年度は晝田ガバナーの信条「ロータリーの未来を語り、礎を築こう」の下、グループ1ではマイロータリー登録の推進、会員拡大依頼（特に女性会員の増加を各クラブにお願いして）、補佐訪問・ガバナー訪問を行い、各クラブ会長の旗振りもあり、会員増加の傾向が成果として現れて来ました。また2020年2月11日開催されたIMに於いて、第2750地区パストガバナー服部陽子様の、「ロータリアンは生涯現役」「ロータリークラブに傍観者はいない」「会長の振るタクトに合わせて一人一人が得意な楽器を奏でて、素晴らしいハーモニーを創りましょう」との言葉を思い出し、グループ1指揮者としてタクトを振り、晝田ガバナーの思いが伝えられたか？ 地区とクラブの橋渡しが上手く出来たか？ 勉強不足と反省しています。私自身はグループ1各クラブの個性に触れさせて頂き、またロータリアンの人間味を感じさせて頂き深く感謝しています。

ガバナー補佐退任にあたり、田渕補佐幹事・淺井補佐幹事には大変お世話になりました。またグループ1（会長・幹事・会員の皆様方）より頂いた友情とご協力に心から感謝を申し上げます。

最後に、世界中で新型コロナウイルスと戦っているロータリアンに敬意を表し、皆様のご健勝と益々のご活躍、ロータリーの発展を願い退任の挨拶とさせて頂きます。

ガバナー補佐退任のご挨拶

2019-20年度 国際ロータリー第2710地区 グループ2 ガバナー補佐　金子 博巳（萩東RC）

2018年9月29日第1回目のガバナー補佐会議を皮切りに1年9か月に及ぶ長期の任務がスタート。当初1年間であれば頑張れると自身に言い聞かせ、まずはRLIに臨む。私はこの研修を受けた経験がなく、ディスカッションリーダー（DL）として事前にテキストを頂いていたにもかかわらず、どう皆さんとやりとりをすればいいのか、前日などは仕事が手につかない状態。第1回目、先輩DLから始めて頂いてその方の一挙手一投足を観させていただきその流れで私の番。なんと時間の長い事か。最近こんなに時間が早く経って欲しいと思ったことはなかったのですが、これを後2回やらなければと考えると憂鬱でした。その後2回目、3回目と進んで参りますと皆さんとのやり取りが楽しくなったものです。しかし改めてロータリーとは？ を「ずーっと」考える事となりそうです。

新年度開始、各クラブへの訪問、当G2は7クラブあり山口県を横断するように行き来することになります。7年前に前任のAGの補佐幹事として各クラブを訪問させて頂いているのですが、責務の重さは違うものでこれも緊張の連続でした。しかし各クラブの皆様にはいつも温かい歓迎を頂きありがたく思っております。やはり緊張の度合いが全く違うのがガバナーの公式訪問。ガバナー、随行幹事を新山口駅にお迎えに上がり、各クラブへ参るのですが、緊張のせいか道順を間違え失礼を致しました。公式訪問も11月12日に全て終え、後は最後の大役IMの開催。しかし新型コロナによりあえなく中止となり、完全に不完全燃焼状態でしたが、今の山口県の状態を観ますと正解であったと思っております。

最後になりますが決して望めるものではないAGを務めさせて頂いたこと、ご指導いただいた執行部の皆様をはじめG2の会員の皆様には感謝のみで御座います。今後共御指導願いまして挨拶とさせていただきます。

ガバナー補佐退任のご挨拶

2019-20年度 国際ロータリー第2710地区 グループ3 ガバナー補佐　河上 隆司（山口南RC）

ガバナー補佐退任のご挨拶を申し上げます。一昨年9月29日に第1回目のガバナー補佐（AG）会議に始まり今年に至るまで様々な方々のご支援、ご協力をいただきましたことに先ずもって感謝いたします。ガバナー補佐の主な役目はガバナー（地区）とグループ3の6クラブとのパイプ調整役、IMの開催、そしてRLIのディスカッションリーダー（DL）としてのお役目と心得て臨みました。

まず最初はRLIにおけるDLの経験でした。6年前に受講生として参加した時と違い今回は自分にとってとても積極的に取り組むことができた実に意義深いものであったと感じております。お世辞でも合格点のDLとは言えませんが、RLIの魅力を垣間見ることができ、今後のロータリー活動の糧になったことは間違いありません。3度のRLIが開催されるのと併行してPETS、地区研修・協議会、ガバナーエレクトを囲む会と、新年度に向けてのAGとしての準備が同時進行していったわけです。

7月には4クラブのガバナー公式訪問が予定されており、AGとして満足な予習、復習をする余裕もないまま過ぎたあっという間の1カ月でした。6クラブそれぞれの個性を感じ、同時にロータリアンの寛容の心を学ばせていただきました。毎回暖かく迎えていただいた各クラブの皆様にあらためて御礼申し上げます。そして何よりも微力なAGを度量の大きさで温厚に接していただいた晝田ガバナーには感謝、感謝あるのみです。晝田ガバナーからは「力みのない自然体の強さ」のような魅力を感じた次第です。

そして最後の仕事がIMの開催でしたが新型コロナウイルスの影響による中止の決定で関係各位には大変なご迷惑をおかけしましたこと、この場をお借りして深くお詫び申し上げます。

約1年半にわたり微力ながら務めてまいりましたAGの大役を終えるにあたり多くの新しい出会いに感謝申し上げます。同時に新型コロナウイルス感染の1日も早い終息を願って退任の御挨拶とさせていただきます。

ガバナー補佐退任のご挨拶

2019-20年度 国際ロータリー第2710地区 グループ4 ガバナー補佐　平田 万三志（光RC）

ガバナー補佐退任にあたりご挨拶申し上げます。先ず持って在任期間中、ご指導いただきました晝田ガバナー、平地地区代表幹事はじめ地区役員、事務局の皆様に心より感謝申し上げます。また、グループ内の各クラブの会長、幹事の皆様にもご支援、ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

任期も半年を切り、2月22日のIMを残すのみとなった2月に入った頃、新型コロナウイルスの感染拡大が言われ始めました。その時点ではこの様な世界的感染拡大をもたらし、人々の生活を全く変えてしまい、教育や経済活動にまで大きな影響を与え社会全体を不安に陥れてしまうことなど想像もしませんでした。ぎりぎりのタイミングでIMは開催することが出来ましたが、3月に入ると、我々の身近にもウイルスは忍び寄ってくるようになり、グループ内の全クラブの例会は休会となり、活動停止状態となりました。ガバナー補佐の役割として、クループ内のクラブを任期中に4回訪問することが義務付けられていますが、最後の1回が果たせず、会員の皆様に直接1年間のお礼を申し上げることができず、心残りに思っています。

マーク・ダニエル・マローニーRI会長のテーマ「ROTARY CONNECTS THE WORLDロータリーは世界をつなぐ」、晝田ガバナーの「ロータリーの未来を語り、礎を築こう」の信条の下で浅学非才の身の上ながら、ガバナー補佐会議、第11期RLIでのディスカッションリーダー、地区研修協議会、ガバナー公式訪問や福山での地区大会、そしてグループ4のIM開催など数多くの貴重な経験をさせて頂きました。

振り返ってみますと2018年9月にガバナー補佐会議が開催され、身の引き締まる思いで会議に臨んだことが昨日のことのように思い出されます。あれから足掛け3年、苦しいことも少しはありましたが、数多くのロータリアンとの出会いもあり、楽しかったことの方が多く思い出され、本当に私にとっては有意義な体験と勉強の機会だったと感じております。

最後になりますが、コロナウイルスの脅威はまだまだ予断を許すことはできず、先行きに不安がありますが、皆様のご健勝を祈念するとともに、ご協力に感謝し、退任のご挨拶とさせて頂きます。

ガバナー補佐退任のご挨拶

2019-20年度 国際ロータリー第2710地区 グループ5 ガバナー補佐　正木 康史（岩国西RC）

新型コロナウイルス感染騒動の最中にあり、まだグループ内各クラブへの最後のご挨拶の予定も立てられない状況でありますが、まずは誌上にてガバナー補佐退任のご挨拶を申し上げます。

晝田眞三ガバナーを始め地区の皆様にご指導頂き、また石田博俊会長（柳井RC）、大浪康司会長（柳井西RC）、山本茂男会長（岩国RC）、細川芳郎会長（岩国中央RC）、松本誠司会長（岩国西RC）、そして茶藤淳一ガバナー補佐幹事を始め、グループ5のロータリアンの皆様には、この一年ご協力、ご支援を賜り御礼申し上げます。

思い起こせば、地区行事として一昨年9月の第1回ガバナー補佐会議に始まり、RLI研修、PETS、地区研修・協議会、地区大会など、グループ内では晝田ガバナーエレクトを囲む会、各クラブへのガバナー補佐訪問並びにガバナー公式訪問、グループ内IM打合せ会開催など矢継ぎ早の忙しい行事日程でありましたが、何とか届懲りなくガバナー補佐の任を終えることができそうで安堵しているところです。

ただ心残りはグループ5のIMを中止せざるを得なかったことであります。3月8日（日）の開催に向けてIM実行委員会の皆様に幾度となくお集まりいただき、2月中旬まで開催すべく万全の準備体制を整えておりましたが、2月下旬コロナ問題で国より3密状態の集会等の自粛要請が出され、断腸の思いで中止の決定をさせていただきました。街の活性化なくしてロータリーの活性化（基盤強化）もないとの思いで、IMのテーマを【街の活性化、魅力再発見～錦帯橋を世界遺産に～】とし、それに関連させパネルディスカッション【ロータリーの活性化、魅力再発見】を予定、そして吉川家第32代ご当主の吉川重幹様に【錦帯橋の再生と覚悟のものがたり】と題しての基調講演もお願いしておりました。その準備を無駄にしないために、基調講演データの提供をお願いし、小冊子の作製を準備しており、グループ内会員の皆様への配布を計画しております。

最後に、重ねて皆様方のご支援、ご友情に心より感謝申しあげ、皆様方のご健勝、ご活躍を祈念申し上げ退任の挨拶とさせていただきます。

ガバナー補佐退任のご挨拶

2019-20年度 国際ロータリー第2710地区 グループ6 ガバナー補佐　松尾 仁（広島東RC）

まず初めに、コロナウイルスの馬鹿野郎！ と言いたい。2019-20年度グループ6のガバナー補佐の任命を受けて2019年2月2日（土）のグループ6・7の合同インターシティーミーティング（IM）が広島ロータリークラブの主管でリーガロイヤルホテルにて行われた時、私はインフルエンザにかかってしまい、高熱を出してIMに出席する事ができませんでした。今年の2020年3月21日（土）グループ6・7合同のインターシティーミーティング（IM）は、広島廿日市ロータリークラブの大藤良治ガバナー補佐に最後までご尽力頂きましたが、ご存知のようにコロナウイルスの世界的蔓延で中止なってしまいました。ほんとに残念でなりません。しかし、2019-20年度グループ6ガバナー補佐として2019年7月から2020年1月までは、グループ6の各ロータリーに晝田眞三ガバナーの公式訪問をはじめ、計3回訪問させていただきました。RLIのディスカッションリーダーの時には大変緊張しましたが、各ロータリーの会長予定者や幹事予定者とも仲良くなり、いろんな事を相談させていただく時も大変助かりました。私は広島東ロータリークラブに入会させてもらって27年になりますが、他のクラブや地区のことをよく知らなくて過ごしてきました。今回ガバナー補佐という役目をいただきグループ6のクラブ内の方々や他のグループのガバナー補佐の方々とふれあい、少しだけロータリアンとしての自覚ができたと思っております。

しかし、今考えると反省する事ばかりが頭をよぎります。ガバナー補佐として役目が全うできたのだろうかと考えさせられる事ばかりですが、地区内の各ロータリーの協力で1年間無事に仕事ができました。

最後に、大変お世話になった晝田眞三ガバナー、平地茂雄地区代表幹事、地区役員の皆様、地区事務局の皆様、同期ガバナー補佐の皆様、グループ6各ロータリーの会長、幹事、役員の皆様、1年間ご協力を頂きありがとうございました。最後はコロナウイルスのおかげで、お礼の挨拶に回れず心苦しく思っておりますが、皆様も健康に気を付けて楽しいロータリーライフを今後ともおくってゆきましょう。ありがとうございました。感謝！

ガバナー補佐退任のご挨拶

2019-20年度 国際ロータリー第2710地区 グループ7 ガバナー補佐　大藤 良治（広島廿日市RC）

グループ7のガバナー補佐を務めさせていただきました大藤良治です。ガバナー公式訪問は令和1年7月29日、広島中央RCをスタートに11月1日までの間、畫田眞三ガバナーに随行して実施させていただきました。フォーラムの議題は、「会員基盤の強化、クラブ戦略計画、ロータリー財団」の3点に絞り、協議、説明をお願いしました。フォーラムでは、会員の皆様と有意義な時間を過ごさせていただきました。各クラブとも、クラブの伝統をしっかり継承し、素晴らしい活動を展開されており、感動の連続でした。特にクラブ運営と奉仕活動のあり方、会員獲得と人材育成等につきましても、大変貴重な経験をさせていただきました。畫田眞三ガバナー、地区役員・事務局の皆様、各クラブの会長、幹事、会員の皆様に心より御礼申し上げます。

ただ、残念なことに、新型コロナウイルスの感染拡大により、3月以降の行事がすべて中止せざるを得なくなりました。3月21日開催予定のグループ6・7合同 IMも中止となり、各クラブの皆様には、多大なご迷惑をおかけしました。特に広島廿日市RCの皆様には、開催準備がほぼ完了していただけに、大変残念な思いをされたことと思います。また、創立記念式典の中止を決断されたクラブもありました。

報道等によりますと、新型コロナウイルスも沈静化の方向にあり、明るい兆しが見えつつあります。皆様には、新しい生活様式を心掛け、安全確保と健康に十分ご留意してくださいますよう願っております。

最後になりましたが、グループ7各クラブの益々のご発展と会員の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

ガバナー補佐退任のご挨拶

2019-20年度 国際ロータリー第2710地区 グループ8 ガバナー補佐　白島 洋司（東広島RC）

ガバナー補佐退任にあたって、一言ご挨拶を申し上げます。先ず、最初に、畫田ガバナーの懇切な御指導と、グループ8の皆様のお陰で、任務を全う出来ました事、心から御礼申し上げます。

今年度、前半は、「補佐・事前訪問」「ガバナー・公式訪問」と順調に進み、ホストクラブ（東広島RC）並びに、グループ8の皆様のご協力を得て、2月1日、IM（テーマ「未来へつなごうSDGsとロータリー」）を、無事に済ませ、後は、恒例の、「グループ8・合同親睦ゴルフコンペ」の実施と、各クラブへお礼に参上すれば任務終了とほっとしておりました。

ところが、年初、コロナウイルス感染症の発生が伝えられ、瞬くうちに、世界に広がり、WHOがパンデミック宣言を出すに至りました。1月末、国内に感染が伝えられると共に急速に拡散し、3月以降は、蔓延を防ぐため、各クラブ、例会も中止せざるを得ない状況になりました。マローニーRI会長も感染防止の声明を発信、国際大会も中止になりました。この様な情勢で、親睦ゴルフも中止としました。長く続いた、親睦のチャンスを失ったことは、残念でなりません。

「始めよければ終わりよし」と申しますが、なんとも残念な、任期後半となってしまいました。唯一、IMが、予定通り開催出来たことは幸運であったと思っています。

「気づかぬだけで、災厄の種は、身近にある」、今回の世界規模の災厄を乗り切るためにも、「SDGs」に、真剣に取り組む必要があると感じました。

コロナウイルス蔓延は、早期に終息しないと推測されます。どうか、皆様ご自愛有って、ご健勝で、この難局を乗り切って戴きたいと思います。至らぬ私を、お支え戴き本当に有り難う御座いました。

ガバナー補佐退任のご挨拶

2019-20年度 国際ロータリー第2710地区 グループ9 ガバナー補佐　三宅 宏（尾道東RC）

この原稿を書き始める前に、年度初頭の挨拶文を読み返してみました。今であれば、「そんなに頑張らなくても」とか「肩の力を抜いて」と、声を掛けてやりたいような気がします。年度スタート前、RLIにおけるDLをはじめ、12月まで予定がびっしり。多くの書類をみながら悪戦苦闘する日々でした。大変フランクで、難しいロータリー用語をわかりやすい言葉で説明していただいた畫田ガバナーや、平地代表幹事、先輩ガバナー補佐の方々のお陰で、なんとか大過なく、今日に至り、改めて感謝の気持ちでいっぱいです。特に、種々手を煩わせた地区事務局の面々や、我がクラブの事務局にはお世話になりました。ありがとうございます。

RLI に始まり、地区協、GEを囲む会等数々の会合に参加しつつ気持ちを高めて行きました。しかし、昨年4月の市長選に係わった為、頭の中から「ロータリー」は消えてしまいました。そこから、エンジンを再始動。グループ内各クラブのご理解のお陰で、「合同公式訪問例会」を3度（6クラブ）実現できました。個性豊かな各クラブのご協力のお陰で、素敵な「公式訪問例会」になったと、自負しています。諸先輩方々の視線を気にしつつ、とてつもない緊張感の中で開催した「プレ公式訪問例会」。とても楽しい時間でした。「The Bodyguard」のラストシーン。ケヴィン・コスナーに寄って行くカメラに映し出された「ロータリーマーク」を紹介できたことは密かな喜びです。

間違いなく歴史に刻まれるであろう「COVID-19」に翻弄され、結果中止となったIMは、大変残念な出来事でした。2000年以上も昔、ローマの哲人の言葉「最善を望み、最悪に備えよ」。その意味を改めて想い、「COVID-19」の早期の終息を願いつつ、関係各位から頂いたご協力に感謝し、退任挨拶と致します。

ガバナー補佐退任のご挨拶

2019-20年度 国際ロータリー第2710地区 グループ10 ガバナー補佐　佐藤 俊之（福山ロータリーEクラブ2710）

2019-20年度グループ10のガバナー補佐を務めさせて頂いた佐藤俊之でございます。

マーク・ダニエル・マローニー 2019-20年度国際ロータリー会長テーマ《ROTARY CONNECTS THE WORLD（ロータリーは世界をつなぐ）》のもと、畫田眞三ガバナーは「ロータリーの未来を語り、礎を築こう」を信条としてご指導ご鞭撻をいただきました。

2018年9月29日の第１回ガバナー補佐会議に始まりRLIのDL研修、畫田眞三ガバナーにお供した合計６回に亘る公式訪問をはじめ、RLI等々、大変緊張し、また勉強になった１年間でした。

府中RC内田貴久会長、福山RC坂本哲巳会長、福山東RC矢吹泰孝会長、福山丸之内RC宍戸宏規会長、鞆の浦RC桒田正人会長、福山ロータリーＥクラブ2710門井一会長をはじめグループ10の会員の皆様には、1年間多大なご支援ご協力を頂き、深く感謝申し上げます。

そして共に行動することが多かったグループ11ガバナー補佐佐藤大三様はじめ福山北RCの会員の皆様にもご協力をいただき大変感謝しております。

新型コロナウイルスの影響で2020年3月7日のG10・11合同インターシティ・ミーティング（IM）が開催できなかったのは大変残念です。

2019年5月から毎月、10回を越えてIM、合同役員会を積み、あとは開催日を迎えるだけでした。

この度はテーマを「東京2020パラリンピックの成功に向けて～共生社会実現への道」と題して日本パラリンピック委員会副委員長、東京2020パラリンピック推進本部長高橋秀文様を東京からお招きしご講演いただき、パネルディスカッションを行い、実際にパラリンピック競技「ボッチャ」をロータリアンの皆様と楽しんでいただく計画でした。

当初の予定通り4月24日福山市役所に枝廣直幹市長を訪ね「ボッチャの競技用ボールセット」を寄贈することはできました。

また、福山西RCの皆様創立30周年おめでとうございます。

そして鞆の浦RCの皆様創立50周年おめでとうございます。

周年記念式典が中止になり残念です。

最後にガバナー補佐の役割をさせていただいたことに心よりお礼を申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。

本当に皆様ありがとうございました。

そして、これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

ガバナー補佐退任のご挨拶

2019-20年度 国際ロータリー第2710地区 グループ11 ガバナー補佐　佐藤 大三（福山北RC）

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為の緊急事態宣言発令により、経済活動や行動制限要請等があり、各種行事が自粛されました。これに伴って、多くのロータリークラブでは例会の休会や取り消しなどが続き、各クラブの周年行事や催物が延期となっています。

私達ロータリアンは人と人との繋がりが大切であると考えますが、例会が休会となり、ロータリーの奉仕の機会と、ロータリアン同士のコミュニケーションが図れず、親睦が深められない事態となっており、例会で仲間と交流できないストレスを感じておられると思います。

そのような中、G10・11合同のIMが3月7日に予定されていましたが、直前で中止の決定を致しました。準備万端に整った段階での決断に、大変申し訳なく思っています。そして、G10・11のIM実行委員会の皆様の準備等の活動に対し、心より感謝と敬意を表します。

本年度のIMは、東京2020オリンピック・パラリンピック大会を控えたこの時期に、共生社会について考えたいと思っていました。障害の有無や、年齢、性別、国籍等に関係なく、すべての人がお互いの人権や尊厳を大切にし、支え合い、誰もが暮らしやすい社会が共生社会とされています。障害もその特徴の一つとして、自然に接することができる共生社会に変わらなければならない。この度のパラリンピックを契機として、多様性を認める共生社会が実現されるよう、そのヒントをパラスポーツの中から探し出して、元気な地域へ繋げていければ、と期待したものでありました。

IMは中止されましたが、障害の有無や年齢に関係なく、誰とでも一緒になって楽しめるスポーツを行うことで、多様性について想いを寄せ、共生社会を実現させるため、IMテーマに沿った形で、パラリンピック正式競技種目である、ボッチャの競技用国際規格品のボールセット2組を福山市様に寄贈しました。

また、各クラブ訪問では温かく迎えてくださり、会員基盤強化、クラブ戦略計画、会員増強など、どうあるべきか真剣に語り合い、ロータリーの仲間として熱意と友情を感じました。感謝申し上げます。

最後に、この1年間ガバナー補佐として皆様から頂いた友情とご協力に感謝申し上げると共に、皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、ガバナー補佐退任のご挨拶とさせていただきます。

ガバナー補佐退任のご挨拶

2019-20年度 国際ロータリー第2710地区 グループ12 ガバナー補佐　林 嘉啓（東城RC）

我が東城ロータリークラブの様々な事情から、私がガバナー補佐をお受けすることになり、自分にこのような大役が務まるのだろうか、と不安でしかない中望んだ2018年9月29日の第1回ガバナー補佐会議、自分自身ロータリーのことがよくわかっていない中、何をどのようにすればいいのか、全くわからない状況でしたが、会議の中で説明されるガバナー補佐の任務と役割を、自分なりに一生懸命理解し全うしようと思いました。

最初の難関は、RLIのディスカッションリーダーでした。2018年11月3日に第11期RLI-2710 DL研修があり、緊張と不安で本当に逃げ出したいような思いになりました。そして2019年1月、4月、6月と第11期RLI-2710パート1、2、3が行われ、なんとか無事に終わることができました。タスクフォースで先輩DLの因島RCの村上様には、親切に色々ご指導頂き本当にお世話になりました。この場を借りて御礼申し上げます。

グループ内では2019年4月13日に畫田眞三ガバナーエレクトを囲む次年度会長・幹事会、新年度に入りガバナー公式訪問、8月に三次中央RC、三次RC、9月に我が東城RC、庄原RC、最後10月に吉舎RCとグループ12の5クラブへ伺いました。事前のガバナー補佐訪問、そして畫田ガバナーの公式訪問と各クラブの会長、幹事を始めクラブ役員の皆様、各会員の皆様に大変お世話になりました。

10月には地区大会が行われ、グループ12の会員の皆様と参加を致しました。

そしてガバナー補佐として最後の大仕事であるグループ12のIMを4月26日に予定し、クラブ全員で一丸となり準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、本当に残念でしたが、やむを得ず中止と致しました。

グループ12の各クラブの皆様、畫田ガバナーを始め地区役員の皆様、事務局の皆様、任期期間中至らないところも多々あったかとは思いますが、お許し頂きたいと思います。

お世話になったすべての皆様に、心より感謝申し上げ任期を終えさせて頂きたいと思います。本当にありがとうございました。

代表幹事退任のご挨拶

2019-20年度 国際ロータリー第2710地区 代表幹事 平地 茂雄

前年度終わり、昨年6月には、各ガバナー補佐開催の「ガバナーエレクトを囲む次年度会長・幹事懇談会」に晝田ガバナーと全グループを廻り、その他、晝田年度が始まる準備も出来ておりました。

7月晝田年度が始まり、まず第一回諮問委員会をはじめ、7月8日防府RCを皮切りに、ガバナー公式訪問が始まりました。今年度2クラブ合同の公式訪問もあり、変則的なことも経験しました。代表幹事と言うことで、31のロータリークラブに随行訪問いたしました。ガバナーともども大変でしたが、各クラブに、ご配慮、ご歓迎をして頂き、皆さんと良い交流が出来ました。10月には最大の行事である地区大会が、続いてガバナー補佐会議、諮問委員会と重要な会議があり、大晦日には晝田年度の前半が終わり、後半に向けて展望しておりました。

各グループのIM、クラブの周年行事、韓国地区大会、ハワイでのRI世界大会、今年度のいろんな行事が目白押しでしたが、数カ所のIM、周年行事が、かろうじて出来ただけで、残念ながら、この新型コロナ騒ぎでほとんどの行事が中止となりました。

クラブの例会さえ、ほとんど中止になった様であります。本当に残念なことであります。

また、コロナ関係で、すでに行われているクラブも有るようですが、ネットを使っての活動(バーチャル会議、例会！)が求められていると思います。

最後に6月20日22時より2020年ロータリーバーチャル国際大会が行われます。マイロータリーからネットに入り無料で参加できますので是非チャレンジしてください。本年度のご協力、本当にありがとうございました。

クラブ管理運営委員会委員長退任のご挨拶

2019-20年度 国際ロータリー第2710地区 クラブ管理運営委員会 委員長 後藤 道幸

晝田眞三ガバナーの下、クラブ管理運営委員会の委員長として一年間担当させて頂きました。

前年度の尾道ロータリークラブ高橋宏明委員長からは丁寧に指導して頂き感謝しております。

2020-21年度の防府ロータリークラブの水津信之委員長には後半3月からコロナウイルス感染予防の為、お会いすることがなくなり引き継ぎが出来てないのではないかと申し訳なく思っております。

2019-20年度の地区研修・協議会の分科会において、地区クラブ管理運営(戦略計画)委員会カウンセラー大之木精二パストガバナーには、戦略計画がなかなか浸透しないという事から「ロータリーとクラブ戦略計画」と題しまして、

1. ロータリー運動について
2. ロータリーの現状と戦略計画への道程
3. 運動論におけるクラブ戦略計画
4. クラブ戦略計画の導入

までを分かりやすくご講演をいただき、心より感謝、御礼申し上げます。

今年度も当委員会はワーキンググループとして地区戦略計画委員会に出席させて頂き、議事録を作成させて頂きました。緊張もしておりましたが白熱する討議に圧倒され、議事録が的確に仕上がらなくて、ご迷惑をおかけした事、大変申し訳なく反省しております。この貴重な経験を今後のロータリー活動に活かして行きたいと思います。

最後に今後もますますクラブ管理運営委員会が成功裏に運営されますよう心からお祈り申し上げます。

地区公共イメージ委員長退任のご挨拶

2019-20年度 国際ロータリー第2710地区 公共イメージ委員長　井上 文之

本年度、畫田ガバナーは地区運営方針の信条を「ロータリーの未来を語り、礎を築こう」とし、運営方針に会員基盤の強化を挙げられています。

最近、クラブ数の減少は見られないものの、一部を除き、クラブ会員数の減少という現実に直面しています。

会員数減少トレンドに歯止めをかけるのは会員基盤の強化、そして公共イメージ向上が必要と考えています。本年度後半は新型コロナウイルスによって移動の自粛が強いられ、活動の不燃焼となりましたが、2022年福山城築城400年に向けて、当福山ロータリークラブの設立65周年として「福山築城400年 BEST FUKUYAMA」のビデオを作成し、福山市に寄贈しました。

福山市のみならず、世界中が新型コロナウイルスによって疲弊している中、コロナが落ち着いてきた時には福山市民と共に築城400年を祝い、コロナ収束後の市民の気持ちと共に盛り上げていきたいと考えています。

また、ITを活用した広報では、My Rotaryの登録推進について例会卓話を行い、卓話の3週間後には登録率が5.5％上昇しました。

最後に、地区カウンセラーの吉原久司パストガバナー、各クラブの公共イメージ委員会の皆様、地区事務局の皆様に心より感謝申し上げます。そして、次年度の防府RCの片岡謙一委員長の事業が成功しますよう心からお祈りします。

会員増強委員長退任のご挨拶

2019-20年度 国際ロータリー第2710地区 会員増強委員会 委員長　北村 洋一

「ロータリーの未来を語り、礎を築こう」という畫田ガバナー信条の基、中島委員長（尾道RC）から引継をいただき、5月11日（土）広島国際会議場にて地区研修・協議会に臨みました。会員増強部門の分科会では、「クラブ運営の柔軟性」の本質と会員増強の関係について考察するために、前年に引き続き実施したアンケート調査の結果をロータリー情報委員会浅利委員長より発表してもらいました。続いて、他地区の会員増強の成功例などを報告させていただき、最後に西村カウンセラーからご講演と講評を頂き、分科会を終了致しました。講演の中では、クラブのパスト会長の皆様方に講師となっていただき、ロータリー塾を開催しているというお話がありました。新しい仲間と、ロータリーについて語り合うことによって親睦と友情が図れる機会となると教えていただけたと考えております。

本年度の増強につきましては、2月現在では、純増24名でしたが、4月末では、純増▲37名となっています。交代会員の一時的な減少ではなく、新型コロナウイルスの拡大によるところが大きいと考えます。改めてゼロから会員増強を進めて行かなければならなくなりましたが、ロータリーの本質を理解していただいて、質の高い会員の増強を目指していくべきであると考えています。

最後に、地区会員増強委員会カウンセラーの西村栄時DPG、地区会員の皆様、そして地区事務局の皆様に心より感謝申し上げ、次年度の防府RC久保会員増強委員長・河村高志ロータリー情報委員長のご活躍をご祈念申し上げます。

奉仕プロジェクト委員長退任のご挨拶

2019-20年度 国際ロータリー第2710地区 奉仕プロジェクト委員会 委員長　竹内 太甫

地区奉仕プロジェクト委員長の大役を、皆様方のご支援やご協力のおかげで何とか務めることができました。特に前年度委員長の今岡様には大変お世話になりました。

地区研修・協議会でのプロジェクト部門の分科会では、カウンセラーの金子克也DPGをお迎えし開催しました。分科会を開催するにあたり、事前に全クラブに奉仕活動の実施事例（国際奉仕、職業奉仕、社会奉仕）について、アンケート調査をお願いし、結果を分科会の場で報告させていただきました。アンケート回答のご協力に対しお礼申し上げます。

事例報告では、国際奉仕は、南利次様（呉東RC）から「KENYAKU運動による呉高専と大連大学のつながり」について、職業奉仕は、村井圭一様（因島RC）から「医師会病院にて会員健康診断の実施」について、社会奉仕は、青木貴央様（三次RC）から「防災フェア」について、活動の報告をいただきました。

3月以降コロナウイルスの影響で次年度への引継ぎが充分にできなかったことが残念ですが、次年度加藤委員長のもと活動がますます充実されることを祈念しまして、この一年間のお礼とさせていただきます。

Rotaryの種の起源

2019-20年度 国際ロータリー第2710地区 米山記念奨学会委員会 委員長　清水 秀樹

委員長として3年の任期も2年目を終わろうとしています。「変化に適応する」をキーワードに、地区委員会の改革を始めて2年目の今年は実践の年となりました。

計画した改革はほぼ実行できたと思っております。

しかし今年度の後半はご承知の通り、新型コロナウイルスの問題が発生し主要な行事を中止せざるを得ませんでした。致し方ないことではありますが、これだけ大きな世界を巻き込んだ問題になると、今後の社会の秩序そのものが変わる可能性があります。

そこで私が思い出すのはイギリスの自然科学者チャールズ・ダーウィンが著作『種の起源』の中に記した有名な『生き残る種とは、最も強いものではない。最も知的なものでもない。それは、変化に最もよく適応したものである。』という言葉です。

米山記念奨学会、いや、ロータリーそのものも、変化を求められているのかもしれません。

そんなことを考えさせられた大変な一年でした。

もう一年任期が残っています、学校の9月入学も検討され始めているようです。

来年度も極力、留学生の不利益にならないような方策を考えていきたいと思いますので皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

一年を振り返って

2019-20年度 国際ロータリー第2710地区 ロータリー財団委員会 委員長　山本 清

最初に各補助金の割合の改定をさせて頂きました。また、財団本部からの連絡で2019-20年度の地区補助金にDDFの繰越金＄60,704.50を上乗せして使用してもOKとなりましたので、通常補助金、特別補助金、グローバル視察補助金の3本立てで募集させて頂きましたところ総額＄189,169と沢山の申請を頂きました。又これからはグローバル補助金プロジェクトに重点を移して頂きたいとの思いで2019年11月にグローバル補助金限定での勉強会を開催し、33クラブ62名の皆様に参加して頂きました。

全てが順調に進んでおりましたが、2019年12月に発生しました新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大でロータリー活動も中止せざるを得ない状況に追い込まれました。そのような中でも2020-21年度地区補助金の審査は必須事項ですので、ロータリー財団委員会グループメールでの審査に切り替え実施しました。また1度限りの例外として新型コロナウイルス関連の費用に2020-21年度地区補助金を活用できると決定しましたので、急遽、フェイスシールドの寄贈、緊急支援地区補助金特別プロジェクトを実施して医療機関の皆様の新型コロナウイルス感染防止対策に貢献させて頂きました。

結びになりますがこの新型コロナウイルスが終息し1日でも早く通常のロータリー活動が取り戻せることを祈念し、皆様のご指導・ご協力に感謝しつつ1年間の回顧とさせて頂きます。ありがとうございました。

国際ロータリー第2710地区　2019-20年度会員増減・出席率（2020年5月度）

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数 年度初 7/1	当月 末日	当月 内女性	本年度 入会	本年度 退会
1	長門	70.83	24	24	4	0	0
	下関	54.28	44	43	1	3	4
	下関中央	66.57	36	39	8	3	0
	下関東	54.14	61	59	3	0	2
	下関北	72.85	44	43	0	1	2
	下関西	69.01	33	34	0	5	4
計		64.61	242	242	16	12	12
2	萩	84.51	48	51	1	5	2
	萩東	83.36	26	24	0	0	2
	美祢	71.86	24	24	1	2	2
	小野田	67.67	37	40	2	3	0
	宇部	84.42	44	44	2	2	2
	宇部東	59.38	13	13	2	0	0
	宇部西	80.22	50	49	3	2	3
計		75.92	242	245	11	14	11
3	防府	67.20	59	60	1	2	1
	防府北	79.93	25	25	3	1	1
	防府南	53.64	38	41	6	4	1
	山口	63.28	50	47	4	3	6
	山口県央	78.91	31	30	1	0	1
	山口南	66.09	45	44	5	0	1
計		68.18	248	247	20	10	11
4	光	71.72	52	49	0	0	3
	周南西	65.80	54	55	6	6	5
	徳山	89.85	43	44	1	5	4
	徳山セントラル	76.88	26	24	1	2	4
	徳山東	90.91	50	49	0	6	7
計		79.03	225	221	8	19	23
5	岩国	67.27	63	61	0	3	5
	岩国中央	77.53	37	39	3	3	1
	岩国西	81.07	57	61	4	7	3
	柳井	81.82	30	33	3	4	1
	柳井西	72.51	27	26	3	0	1
計		76.04	214	220	13	17	11
6	広島	72.13	114	116	1	15	13
	広島安芸	70.13	43	45	3	2	0
	広島安佐	78.77	21	21	1	4	4
	広島東	81.40	114	108	8	7	13
	広島北	70.38	99	101	0	5	3
	広島陵北	79.87	54	56	3	2	0
	大竹	69.85	32	28	0	0	4
計		74.65	477	475	16	35	37
7	広島中央	72.55	74	75	7	5	4
	広島廿日市	76.04	33	27	3	1	7
	広島城南	81.82	44	43	3	1	2
	広島南	81.82	89	88	0	5	6
	広島東南	72.73	100	96	14	9	13
	広島西南	81.44	67	71	3	5	1
	広島西	81.58	85	87	3	5	3
計		78.28	492	487	33	31	36
8	江田島	88.90	18	17	0	0	1
	東広島	79.41	31	27	3	1	5
	東広島21	57.03	17	19	4	2	0
	呉	72.61	72	70	1	4	6
	呉東	60.06	35	33	1	2	4
	呉南	74.68	61	59	2	3	5
	西条	80.65	36	35	2	3	4
計		73.33	270	260	13	15	25
9	広島空港	59.53	29	29	3	0	0
	因島	83.73	19	16	0	0	3
	三原	65.50	59	57	0	1	3
	尾道	53.56	85	76	2	3	12
	尾道東	71.68	56	56	7	0	0
	瀬戸田	53.18	5	4	0	0	1
	竹原	65.54	25	17	3	0	8
計		64.67	278	255	15	4	27
10	府中	76.04	27	26	2	1	2
	福山	95.29	84	83	0	9	10
	福山東	59.03	48	48	3	2	2
	福山丸之内	79.44	29	29	1	1	1
	鞆の浦	71.54	22	23	0	1	0
	福山REC2710※	87.21	19	19	3	1	1
計		78.09	229	228	9	15	16
11	福山赤坂	65.74	52	53	6	3	2
	福山北	70.83	40	40	0	1	1
	福山南	67.97	51	57	3	8	2
	福山西	79.29	38	36	2	0	2
	松永	74.23	53	52	2	0	1
計		71.61	234	238	13	12	8
12	吉舎	75.73	15	15	0	1	1
	三次	72.98	37	34	0	1	4
	三次中央	86.51	39	39	5	3	3
	庄原	73.75	34	33	4	0	1
	東城	76.57	18	18	1	0	0
計		77.11	143	139	10	5	9
第2710地区計		73.36	3294	3257	177	189	226

※正式名称「福山ロータリーEクラブ2710」

国際ロータリー第2710地区 事務局
〒732-0822　広島市南区松原町1-5 ホテルグランヴィア広島6F
TEL：082-506-0055　FAX：082-263-2323　E-mail：info@ri2710.com　URL：http://ri2710/com/

お詫び　新型コロナウイルス感染の拡大による影響で、5月第11号・6月第12号・7月最終号の3号につきまして、従来の紙媒体の配布を中止し、PDF化したデータを各RC事務局にお送りするとともに、RI2710地区ホームページ（http://ri2710.com/）に掲載させていただきます。
ご理解ご了承のほど何卒宜しくお願い致します

新会員紹介

徳留 隆夫
下関西
2020年5月27日
生命保険

新久保 成年
下関西
2020年6月1日
税理士

川上 健
宇部西
2020年5月26日
総合証券

間野 晴好
岩国
2020年6月1日
警備保障

末松 健二
岩国
2020年6月1日
化学工業薬品製造

熊丸 祐次
岩国
2020年6月1日
電力供給

都留 真弘
岩国
2020年6月1日
小売(スポーツ用品)

酒井 太市
岩国
2020年6月1日
合成繊維品製造

山岡 稔
広島安佐
2020年4月2日
福祉厚生施設

亀井 展宏
福山
2020年5月11日
証券業

錦織 隆幸
福山
2020年5月11日
総合建設業

赤井 康行
福山
2020年5月25日
外国為替銀行

戸井 秀樹
福山
2020年6月1日
商業銀行

[編 集 後 記]

2019-20年度 国際ロータリー第2710地区 ガバナー月信委員長 **髙田 三郎**

本年度畫田眞三ガバナーの「ガバナー月信をロータリアンの皆様に興味を持ち楽しんで読んでいただけるような内容にしたい」との想いのもと、編集発行に努めてまいりました。

しかしながら年が明けまして新型コロナウイルス感染の世界的な大流行の影響で、地区内外の行事のほとんどが中止や延期となり、4月第10号以降に予定しておりました地区内各グループのIMなどの行事報告の多くが掲載できず、また例会休会や事務局のテレワーク化などにより従来の紙媒体での配布を中止し電子媒体での配布に変更せざるを得なかったなど、皆様に多大なご迷惑をおかけいたしました。ここに深くお詫び申し上げます。

お忙しいところご執筆いただきましたパストガバナーの皆様、ガバナー補佐の皆様、地区役員・委員長の皆様、地区大会・RYLA実行委員会の皆様、特別コラムをご執筆いただきましたロータリアンの皆様、奨学生・留学生並びにカウンセラーの皆様、ロータアクト・インターアクトの皆様、また地区事務局の皆様とアート印刷株式会社の皆様、本年度ガバナー月信委員会の委員の皆様には大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。